

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年11月10日(金) NO17 文責 木下<sup>きした</sup> 文秋<sup>ふみあき</sup>

## 横田早紀江さんに思う～なぜ正義が通らないのか

生徒の皆さんは横田早紀江さんを知っていますか。1977年に当時中学1年生だった娘、横田めぐみさんが新潟県内で拉致されてから15日で46年になるそうです。横田めぐみさんの母である横田早紀江さんの記事が新聞に載っていました。「怒りより、くたびれてきて、前みたいに声も出ず、だんだん弱ってきている」とつぶやかれています。それもそのはず、御年87歳です。横田めぐみさんは私と同じ年齢ですから、46年とはとてつもなく長い時間だと感じます。

時々、お亡くなりになられたご主人と共にテレビの取材に応じていた映像が記憶にあります。いつも冷静で丁寧に語り、淡々と拉致問題の解決を訴えておられた姿が印象にあります。拉致とは、「個人の自由を奪い、別の場所へ強制的に連れ去ること」と辞書にあります。部活帰りの娘をある日突然海外に奪われて、それから46年間。娘を取り戻せず、過ごした年月はむなしさを乗り越えていると思います。横田早紀江さんをテレビで見るたびに「歳をとられたな」「元気がなくなったな」と日本国民がみんな思っているはずですが。前回の学校だよりの最後には、中東で起きている戦争で犠牲になっている子供のことを書きました。麻酔がない。電気がないので暗くて手術ができないという惨状。新聞を開くと毎日、世界中の争いごとや国内で起きた不正、金まみれの現実が報じられています。世の中の仕組みがおかしくなっているのかなと思います。この拉致問題も戦争も、善か悪かと問われれば、紛れもなく悪なのに、正しい方向にことが進んでいきません。ここで思うこと。それは『なぜ正義が通らないのか』ということです。「娘を返して」と言っても返してもらえない。「戦争をやめて」と言っても人を殺め合う<sup>あや</sup>。どうして正しいことを主張してもそれが通らないのだろうか。だからこそ、学校で仕事をしている以上、学校だけは正義が通る社会にしていきたいと感じます。『してはいけないことはしない』『してしまったことは、正直に詫びて反省をする』それができれば、悪ははびこりません。相手の身体の特徴をからかう。個人的な感情で嫌いだとつぶやく。キモイと言っている。これは正義ではありません。横田めぐみさんが拉致されて46年。中学生の皆さんが、大人になり家庭を持った時の世の中に「正義が通る社会」を目指すならば、全ての人の心に正義がないと実現しない気がします。